

日光化成 株式会社

樹脂の配合技術で

革新的な新素材開発に取り組む

海外
発注可
企画力
自信有
オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン
量産
対応



新設の大阪技術研究所

主な事業内容

樹脂材料、不燃材料の開発・製造・販売
およびディスク医療器の設計・製造

主な取引先(納入先)

自動車・鉄道分野、医療分野、
半導体分野、電子・電池分野、建材分野

主な製品

電気絶縁材料、耐熱・放熱材料、磁性材料、
建築材料、ディスク医療器など

業務 内容

**さまざまな特性を生み出す
樹脂の優れた配合技術**

基礎となる電気絶縁材の技術を応用し、高付加価値な特性をもつ新素材の開発を行う。

異なる原料をブレンドする樹脂の配合技術

で、絶縁性、高透磁率性、低誘電性、耐薬品性、

耐熱性、耐静電性、放熱性などの性能を持った

「複合化材料」を創り出している。例えば、電

池の材料に使われる絶縁材料は高い絶縁性と耐

熱性を併せ持ち、また透磁率が高く、体積抵抗

を有している磁性材料は産業用のモーターに使

われている。さらに材料開発だけでなく加工、

成形、デザインをワンストップで行い部品化を

実現し顧客の高い信頼を勝ち得ている。

また、樹脂成形技術を駆使したディスクボー

ザブル医療製品の製造も行い、三方括検や注

射器などさまざまな製品を通して医療分野に

貢献している。

強み オープンイノベーションで 研究開発を加速

自社開発に加え、社外リソースも積極的に活用し研究開発・製品開発を行う「オープンイノベーション」、大学の研究室を交えた「産学コンソーシアム」などの共同開発を積極的に推進している。それにより日本のものづくり技術を結集させた最先端の極秘な案件開発を行っている。2000年代から大きく躍進

社長あいさつ



代表取締役社長
利倉 一彰さん

平成29年に70周年を迎えた当社は、培われた技術と伝統をもとに常に時代の先端をいく「材料開発」に取り組んできました。電気絶縁材料メーカーとしての進化はもとより、自社の技術開発に力を注ぎ、特に耐熱性の高い材料開発は業界でも注目されるようになりました。さらなる高みを目指して、オープンイノベーション、産官学の共同研究にも積極的に取り組んでいます。

“世の中にありそうでない技術”から“イノベーションを起こせる技術”まで日本のプライドをかけた次世代のものづくりができる研究開発型企業を目指しています。

主な保有設備

■ 非公開

全国
01 ISO 9001

住 所／〒531-0077
大阪市北区
大淀北1-6-41
T E L／06-6458-5511
F A X／06-6458-3510
創 業／昭和22年12月
設 立／昭和22年12月
資本金／1億円
従業員／145名



<http://www.nikkokasei.co.jp/>

した産業の代表格として自動車、IoT（モノのインターネット）／AI（人工知能）製品などが挙げられるが電動化が進む技術の推進は、同時に電気や熱のコントロールを必要とする。そのような技術に伴うすべての製品に必要とされ、さまざまな特性をもった新しい材料の開発に日々挑戦している。

高度材 新開発拠点、ベンチャー事業 それぞれの挑戦

いまや事業の柱の一つとして躍進を続けるディスクボーザブル医療器の製造は約40年前、樹脂関連事業をメインとしていた日光化成に新たなベンチャービジネスとして生まれた。現在の日本では医療製品製造はレベル順位がクラス分けされており、日光化成は上位クラスの品質管理基準QMS（品質マネジメントシステム）に合格するまでに成長。さらに「常にベンチャービジネス精神を忘れない！」という考えから令和元年8月には大阪に研究所を新設し、新たな化学材料分野の技術研究の挑戦として表面処理の研究に着手した。デザイン性の高い研究施設は「イノベーションハブ」という名のもと、地域経済の発展に貢献しながら新たな研究開発の発信基地としての役割も担っている。研究開発型企業を目指し、ベンチャー企業との連携などの新事業にも積極的に取り組む「日光化成」では常に挑戦する意識を持った人材を求めている。



品質管理基準QMSをクリアし、高度医療機器製品に対応



高耐熱成形材料「タイモルド」